

平成 29 年度 大阪府立日根野高等学校 第 1 回学校協議会（記録）

進行 教頭 金城茂男
記録 教諭 高橋弘樹
教諭 向井那奈

1. 校長挨拶

2. 協議会委員及び事務局員紹介

1) 協議会委員（出席者）4 名

日根野中学校校長 森元 勝 氏

イオンモール日根野ゼネラルマネージャー 藤江 隆 氏

P T A 会長 豊福 秀夫 氏

日根野高校後援会会長 谷岡 信吉 氏

2) 事務局員（出席者）9 名

岸野校長、金城教頭、南事務長、野中首席、杉原首席、岩田進路部長、
矢萩教務部長、高橋教諭、向井教諭

3. 協議

1) 協議会会長の選出

赤木 攻 氏を選出（森元 勝 氏が代行）

2) 平成 28 年度学校経営計画及び学校評価、平成 29 年度学校経営計画（案）及び学校評価（案）について（校長）

※事業報告（岸野校長）

- ・学校行事）合唱コンクールを 2・3 年生合同で行った。教員も参加し、大盛況だった。体育祭は昨年度までの秋実施から春の実施に変更した。もっと盛り上げるために文化祭と異なる時期に行うこととした。
- ・クラブ活動）女子バレー部は、地域貢献活動として地域の中学校を 40 校集めて日根野杯という大会を実施している。吹奏学部は、定期演奏会を大ホールで実施した。
- ・国際交流）短期でフランスに交換留学を行った生徒が 1 人。今年は仏語の開講がなかった。
- ・研修・講習）I C T 技術やデジタル教科書などの授業での使い方についての研修を行った。デジタルと紙のミックスを若い先生中心に頑張っている。
- ・P T A）例年通りのスケジュールで順調に展開している。スマホに関わる人権研修も行う。
- ・後援会）安定して会費を頂いている。
- ・外部交流）街づくり政策コンテストの審査員を行った。
私塾連合から 10 校来校されて、専門コースに変わった様子を見学された。
民間保育協議会では、昨年度までのお礼と今後も引き続きいろんな体験受け入れ依頼。

※普通科総合選択制から普通科専門コース制に転換してからの中期目標です。28 年度のものも掲載してありますので、見比べていただけたらと思います。

国公立・難関私立大学平成 28 年度は 26 名進学しており、例年 25～30 名で推移している。最終的には倍増させたい。

専門コースは今年度の 2 年生で、子どもみらいが 26 名、看護医療が 67 名となった。特に看護医療が多く、昨年度は難しい学校にも合格している。専門コースで結果が出ているということは、戦略的に成功しているということだと考えている。

ビブリオバトルで全国大会 4 位優秀賞を修めるなど、学力や体力は当然のこと、コミュニケーション能力やプレゼンテーション能力も身につけている。プレゼン能力が身につけているという生徒は 66%と以前より 30%近く上昇している。

※専門コースについて

よりニーズに適したカリキュラム編成を目指していきたい。総合選択制から専門コース制に変わったので、進学を重視したシンプルで学びやすいものにしていきたい。

※入学志願者について

安定した受験者数を確保できている。普通科専門コース制になって 3 年間 1. 1 倍程度の安定した倍率になっている。「もっと入りたい学校へ」と日根野高校らしい書き方にした。

※部活動について

部活加入率は順調に増加している。以前は 50%ほどだったが、今年は 75%になっている。部活動は一生懸命に行うことにより粘り強く取り組む力に繋がるので、部活加入率と進学実績には相関関係がある。また、部活動をやることで、クラス以外の自分の居場所にもなる。まずは自分の居場所、次は卒業後の出口の面で部活加入を勧めている。

3) 28 期生進路状況について（進路指導部長）

※昨年度は看護医療系志望の生徒が多く、和歌山大学や関西大学、近畿大学などにも合格している。近畿大学の一般受験合格者は減ってしまったが、指定校推薦など合わせて 10 名合格している。公務員志望者は、専門学校から定期的に来ていただいたりと、早く対策したおかげもあり 7 名合格できた。

※センター試験受験者は 4 名と少なかった。国公立大学を受けるためだけのものではないので少々残念である。今年度は最後まで頑張る生徒を育てるようにしていきたい。

4) 教科書採択について（教務部長）

※不適切な選定がなかったことを報告します。

4. 質疑応答

〈委員〉280名入学で274名卒業はかなり高い人数。クラブ活動ではいろいろ学べるので、バイトで目先のお金を見てしまうより、しんどいけど継続する力をつけてほしい。

→学校に興味を持ちにくくなるので、バイトはあまりお勧めしない。放課後に残って自習している生徒もいっぱいいるし、部活加入率も増えている。学校に居場所があるのはうれしいこと。

〈委員〉障がいのある生徒はいるか。受験のときはどうしているのか。

→介助員のついている生徒が1人いるが、元気に来ている。インクルーシブ教育として良い影響はあるのではないかと。受験について、学校見学を別日程で行い中学校と連携して、対応している。

〈委員〉人権教育について、エリアや地域で行っていかないといけない。家の教育もあるが、点字ブロックに平気で自転車を止めたりしている。周りの大人からもそうだが、学校でも府警を交えて教育していき、エリアとしても良くなっていったらと思う。

→地域としての取り組みはあるのか。垣根低く、取り組みの機会を設けていけたらと思う。

〈委員〉環境浄化プログラムとして、学校の中や周辺をボランティアで清掃している。

ここ3年は夏場に1時間ほど日根野駅周辺のゴミ拾いも行っている。

→学校では、ボランティア部による挨拶運動や、佐野支援学校との交流会、通学路・イオン周辺での清掃活動などを行っている。

5. その他

〈岸野〉専門コースに変わり3年が経ちましたが、これからはカリキュラムを変えていきたい。進路保障をしながら、選択と集中を行なっていくということを学校内外に発信していきたい。

〈委員〉カリキュラムについて、生徒のニーズはどうなっているか。

→専門コースに入ってしまうと、専門科目の授業などのしぼりが多くなる。そこで、専門コース制よりも選択授業にしてしまうほうが、進路の選択肢が増えるのではないかと考える。看護学校の先生からは「高校生はしっかり勉強させてください」と言われるので実習の専門科目よりも基礎学習をしっかり行っていきたい。

→3年のスパンでどのように進路実現していくかが大切で、ある程度のレベルまで引っ張り本気にさせれば、生徒も勝手に考えていく。進路や受験の知識を与えて、意識を持たせて、勉強させている環境ができつつある。確実に生徒も教師も意識が高まってきています。今年も3年生は5月くらいから急に変わり、いろんなところで学校に残り進路や勉強の質問に来ます。このまいうまくいけば、進路実現という形で結果も残し、地域にも喜んでもらえるかなと思っています。

〈委員〉日根野高校は、専門コースを看護医療コースをのみで、子どもみらいコースとアドバンスト人文社会コースは、専門コース制よりも選択授業にしてしまうほうが、進路実現につながり、進路の選択肢が増えるのではないかと。

○次回連絡

第2回学校協議会：平成29年10月27日（金）午後3時～

第3回学校協議会：平成30年1月26日（金）午後3時～